

Whoisに関する動向

日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット推進部 前村 昌紀

目次

- ・ 経緯のおさらい
- ・ gTLDディレクトリサービス専門家作業部会
- ・ 北京での意見聴取
- ・ まとめ
- ・ 参考リンク

経緯のおさらい

過去の資料

- 第34回ICANN報告会・JPNIC前村
 - 「WHOISに関する最近の動向(アップデート)」
 - <https://www.nic.ad.jp/ja/materials/icann-report/20120731-ICANN/20120731-06.pdf>
- **ドメイン名を中心としたインターネットポリシーレポート・2013年3月1日発行第5号**
 - 「WHOIS関連ポリシー見直しの状況」
 - <https://www.nic.ad.jp/ja/in-policy/policy-report-201302.pdf>

Whoisポリシーレビューチームの活動

- 2009/10/01 AoC発効
- 2010/09/30 レビューチーム発足
 - メンバー: SO/AC代表, 専門家, 法執行機関代表, GACチェア/CEO指名
 - 検討期間: 定例電話会議開催、ICANN会議ごとに関係者からヒアリングなど
- 2011/12/05 最終報告書案公開
- 2012/03/18 パブリックコメント期限
 - コスタリカ会議の直後
- 2012/05/11 最終報告書公表
- 2012/06/23 理事会が最終報告書受領を承認
- 2012/07/11 パブリックコメント期限

最終報告書における 16の勧告

戦略的な優先順位付け

1: WHOISに関する戦略的な優先順位付け

単一のWHOISポリシー

2: 単一明快なWHOISに関するポリシー

アウトリーチ

3: 消費者認知度向上のためのアウトリーチ

コンプライアンス

4: 実施体制を整備してコンプライアンスとして管理

データの正確性

- 5: データ正確性要求を登録者へ周知徹底
- 6: 連絡不可能な登録の低減策
- 7: 正確性向上成果の年次報告
- 8: 明快な契約連鎖と非準拠者への段階的制裁
- 9: WDRPによる年次通知が非効率ならば代替案

プライバシー・プロキシサービスのデータアクセス

10: プライバシー・プロキシサービス事業者への監視・規制プロセスの導入

一般的インターフェースのデータアクセス

11: InterNICサイトの全面的改良によって全gTLDに多言語で照会可能なサイトをICANNが提供

国際化ドメイン名 (IDN)

- 12: 多言語登録規格化WG設立と1年以内の報告
- 13: 多言語登録規格のレジストラ・レジストリ契約への導入(制定後半年以内)
- 14: 多言語登録の正確性基準の制定

包括的詳細計画

15: 包括的詳細計画を3ヶ月以内に提示

年次報告書

16: 年1度以上の定期報告書提出

WHOIS Review Team Final Report

<http://www.icann.org/en/about/aoc-review/whois/final-report-11may12-en.pdf>

gTLDディレクトリサービス専門家作業部会

最終報告書以降の動き

- 2012/05/11 最終報告書公表
- 2012/06/23 理事会が最終報告書受領を承認
- 2012/07/11 パブリックコメント期限

- 2012/11/08 理事会決議: gTLD登録データの
 収集・維持・アクセス提供の目的を
 再定義する作業を事務局に指示
 - <http://www.icann.org/en/groups/board/documents/resolutions-08nov12-en.htm>
- 2012/12/14 ICANN、gTLDディレトリサービス
 専門家作業部会(Expert Working
 Group: EWG)設立を発表
 - <http://www.icann.org/en/news/announcements/announcement-2-14dec12-en.htm>

EWGとは...

- EWGの目的

1. gTLD登録データを収集、維持する目的を定義し、データ保護方法を検討する
2. gTLDディレクトリサービスに関して、データ保護を勘案しつつ、データの正確性とデータアクセスの問題に対処することができるモデルを提案する

インプットとアウトプット

- インプット

- レビューチーム最終報告書

- ・ <http://www.icann.org/en/about/aoc-review/whois/final-report-11may12-en.pdf>

- SAC055:WHOIS: Blind Men And An Elephant

- ・ <http://www.icann.org/en/groups/ssac/documents/sac-055-en.pdf>

- アウトプット

- ICANN事務局に対して検討成果を提出

- この成果を基にICANN事務局がイシューレポートを作成

- イシューレポートはGNSOのポリシー策定プロセスに提出

コミュニケーション

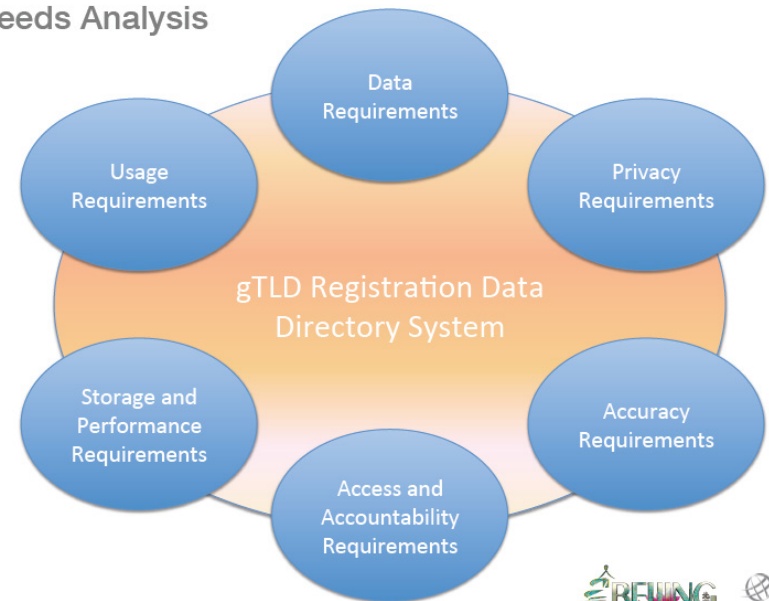
- ・ 2013年4月北京会議にて意見聴取セッション開催
- ・ e-mailによるコミュニティインプット
- ・ これらを基に、2013年7月ダーバン会議までに「ドラフトブループリント」を作成
- ・ ドラフトブループリントを基にダーバン会議にて意見聴取

北京会議での意見聴取

北京会議でのセッション

- Next Generation - gTLD Directory Services
 - 2013年4月8日 11:00—12:30
 - オープニングセッション直後のメインホール

Needs Analysis



<http://beijing46.icann.org/meetings/beijing2013/presentation-gtld-directory-services-08apr13-en.pdf>

意見聴取の論点(1/2)

- 利用法要件

- 「gTLD登録データの収集、保存、提供は必要ですか？なぜ？」

- データ要件

- 「データ要件は、商用と非商用で異なるべきですか？」

- プライバシー要件

- 「匿名登録は許容されるべき？どのように？」
- 「登録者のプライバシーを保護し悪用を防ぐ策は？」

意見聴取の論点(2/2)

- 正確性要件

- 「不正確なデータの改善・矯正方法は、不正目的などの場合に違うべき？」

- アクセス構造要件

- 「参照要求者の目的に応じてアクセスできる情報は階層的であるべき？」

- 保存・性能要件

- 「分散DB 対 集中DBのコストとメリットは？」

意見聴取の様子

- 各要件に対して担当EWGメンバーの説明がなされ、それぞれに参加者からの意見を受ける

データ収集公開
必要は自明

匿名発言は修正第1条
で保護されている

商用非商用の線引きは昔か
ら取りざたされるが難しい

データ収集公開
必要は自明

Facebookなどと違って公共
的データ。徹底的保護が必
要

アクセス権階層化
は絶対必要

いいんじゃない？

ダメ。公共データ
は全公開すべし

まとめ

- ・ GNSOのポリシー策定プロセスに対する、
イシューレポートの基となる、
検討のための意見聴取
- ・ 様々な立場から様々な意見が提示され、
時には対立している
- ・ これらを基に、2013年7月ダーバン会議までに
EWG「ドラフトブループリント」が提出される予定

参考リンク

- ・ 北京会議セッションページ
 - <http://beijing46.icann.org/node/37051>
 - 投影資料、速記録

- ・ ICANNコミュニティWikiページ
 - <https://community.icann.org/pages/viewpage.action?pageId=40175189>
 - EWGの全議事録を始めとする関連資料

- ・ E-mailによるインプット送付先
 - input-to-ewg@icann.org

ありがとうございました

2013/05/22 第36回ICANN報告会
WHOISに関する動向
JPNICインターネット推進部
前村昌紀